

鉄道郵便局の「消印もれ消印」について

「鉄郵印グループ」の初期からのメンバーで鉄郵印で楽しんできました。大学時代「鉄道研究会」というサークルに加入して郵趣との接点が鉄郵印だったのです。おかげで全国の国鉄、私鉄を乗り歩き、鉄郵印も鉄道史の中でも大変参考になりました。

今回、標記の消印についてはほとんど発表がなく「消印もれ消印」が昭和6年から始まったという記事があり、各鉄道郵便局名の入った「消印もれ消印」のエンタイヤもわずかながら戦前から存在します。全てが実通便でフィラテリックカバーは見た事はありません。但し年月日がありませんので文面からの判断となるのです。以前鉄郵印グループのある人が郵便車に行き係員に「消印もれ消印」を確認しに行ったが、消印もれ郵便物があれば通常の鉄郵印でやるとの事でそんなに忙しい中でいちいちやってられないとの事だったと話を聞いた事があります。

現在、4通のハガキの実通があります。大阪鉄郵局は戦後も左書きがハガキの速達にあり、高松局は朱印です。北は北海道から南は九州まで各地に鉄道郵便局はあり、その名の入った不足印もありますので、この消印もあったと思われます。各地区の郵便車に備えられていたので、どの区間の線路銘かはこの印では判断できません。捨印でも鉄郵印があれば判明したのではあるのですが。

秋吉 誠二郎

